

## 新年に平和な世界を願って

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、旧年中は大変お世話になりました。2026年が誰もが平和で安心できる世界を実現する年になることを願っています。

◆ お正月に見る夢のことを初夢といいますが、大晦日の晩に見る夢か、元旦の夜に見る夢か、あるいは新年に初めて見る夢のことなのか諸説あるようですが、残念ながら今までどんな夢を見たのか思い出せません。みなさんはどんな初夢を見ましたか？

◆ 親鸞聖人がおられた鎌倉時代は、今よりもっと夢を大切にされていました。それは夢が、人間の及びもつかない神秘的で不思議な力だと考えられ



ていたからです。親鸞聖人も、六角堂で夢のお告げを受け、救世観音のお姿の聖徳太子が現れて、法然聖人のところへ行くように勧められたと言われています。同じ時代に生きられた明恵上人という人は、四〇年間も夢の日記をつけておられたそう、夢は仏さまの世界と繋がる大切なものだと考えられていたようです。

◆ 現代の科学では、夢は睡眠中の脳の活動の産物で、過去の記憶の断片が組み合わさって、そこに心身の状態も反映して現れるとされています。科学的に見れば夢は非現実的なつまらないものかもしれません。

◆ ところが近年になって、夢とは睡眠中に見るものだけではなく、将来の希望や目標という意味でも語られるようになりました。アメリカのキング牧師が 'Have a Dream' (私には夢がある)と人種平等を呼びかけた演説は有名です。私も子どもの頃、宇宙飛行士とか発明家になりたいとか、いろんな夢を抱いていましたが、いつの間にか忘れてしまいました。

◆ 現代の初夢とは、睡眠中に見るものではなく、自らが成長したり望みを叶えたりするための、決意や情熱のことなのかもしれません。今年忘れずに夢を叶えたいものです。どんな夢か？それはヒミツです(笑)。今年もよろしくお願いたします。(住職)

一月(睦月)

一日(祝) 元旦会 八時半

二日(祝) お講 十一時

### アウシュビッツ訪問記

「君たちに戦争責任はない。でもそれを繰り返さない責任はある。」  
(カジミエシュ・スモレン)

◆ 昨年、ポーランドにあるアウシュビッツ博物館へとんぼ返りで行ってきました。アウシュビッツとは、第二次世界大戦時にナチス・ドイツによって、ユダヤ人をはじめ、ロマ(以前ジプシーと呼ばれた人たち)、障がい者、同性愛者、抵抗するポーランド人、ロシア人捕虜などが大量虐殺(ホロコーストと言います)された強制収容所があった場所です。アンネの



日記で有名なアンネ・フランクもここに収容されていました。現在は、悲惨な出来事を二度と起こさないための平和博物館となっています。

◆ 岐阜県にある、ユダヤ人にビザを発給して多くの命を救った杉原千畝の記念館で、展示を見た時(清浄光319号)に、排外主義的な風潮が広がる今の社会が、かつてのドイツやヨーロッパの状況にそっくりだと感じ、いてもたってもいられず自分の目で確かめたいと思ったのです。

◆ 今回、博物館の案内をお願いした日本人の専門ガイドさんが紹介してくださったのが、冒頭のスモレンさんの言葉でした。スモレンさんは強制収容所から奇跡的に生還し、その後、博物館の初代館長を三〇年にわたって務められ、世界中から見学に訪れる若者に、この言葉を伝え続けられたそうです。

◆ お釈迦さまは「仏さまのお慈悲の前では兵器も武器も要らない」と仰いました。

◆ 私たちに戦争責任はありません。でもそれを繰り返さない責任はあります。

◆ 二〇二六年の念頭にあたり、戦争のない平和な社会を願いつつ行動していきたいと思えます。

◆ 一月の掃除当番は、堀増夫さんです。お世話様ですがよろしくお願いたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

## 世のなか 安穏なれ





## お正月恒例の間違い探し

森の中は、ふかふかの雪が積もって動物たちも楽しそう。

さて、上の絵と下の絵、7つ間違いがあります。ちよっと難しいかな？

頑張ってみつけてくださいね。今回の絵は、AIにも少し手伝ってもらいました。

### 本願寺御正忌報恩講

西本願寺では、毎年1月9日から16日にかけて御正忌報恩講(ごしよきほうおんこう)がお勤めされます。親鸞聖人のご遺徳を偲ぶ、浄土真宗で最も大切な法要です。連日、朝から様々な作法のお勤めがあり、法話を聴かせていただく機会でもあります。ぜひお参りください。なお、本願寺向かいの龍谷ミュージアムで特別展示も行われていますので、お時間がありましたらお立ち寄りください。



### 先月号の答え

お馬さんがたくさんいます。あれれ牛さんが混じっているよ。牛は何頭いるかな？

